

科目名		実習ゼミⅤ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	後期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

救急医学を理解し、患者の急変時に対応できる知識・技術を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

救急医療に必要な知識に対しての講義、患者の急変時での基礎的な観察・処置を実習で実施。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

患者の急変時に対して、的確な観察・判断・処置ができる。

回数	講義内容
1	バイタルサインの観察/全身観察
2	全身観察
3	心電図の読み方
4	ショックの分類
5	骨折固定法、止血法、ネックカラーの使用法
6	脳血管障害・痙攣発作への対応、熱傷の判断と対応
7	心肺蘇生法；成人
8	心肺蘇生法；成人、AED

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし・配布プリント		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。
--